

学校名 大阪府寝屋川市立
第四中学校
学年 三年一組
氏名 渡辺しずく

題名 幸せをつなぐ交差点

私の祖母は私の家から歩いて十分くらいのところに住んでいます。ここ数年で、私が住む駅周辺地区が、都市再生整備で新しい道路やマンション、医療施設ができて、とても住みやすい街に変わりました。以前は、私の家と祖母の家の間に、信号機のない交差点があり、「みんなに会いに行きたいんやけど、あそこ単がたくさん通るし、怖いから行かれへんねん」とよく残念そうに言っていました。ここ

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

ろが、数ヶ月前に立派な交差点ができて、行き交う人たち皆、安心して道路をわたることになりました。「税金」が使われている事を知りませんでした。税金は、国や地方自治体が必要とする財源として、所得税や法人税、消費税などの形で納められます。これらの税金は、公共サービスや学校、道路、公園などのインフラ整備や年金、福祉などの社会保障制度も税金によ

中学生の「税についての作文」原稿用紙

作品番号	1	2	3	4	合計
837					634

て、まかなわれれているという事も調べて知る
 ことができました。

私の祖母も、夜差点ができてからは、私の
 家に来てくれることが増え、祖母の笑顔を見
 ることができて私も幸せな気持ちになります。
 今、私たちが当たり前のように通っている道
 路や住みやすい街は当たり前の幸せではない
 ことに気づかされました。また、幸せは「税
 金」のおかげだと思います。私は、「税
 金が高くなる」というニュースを耳にし、税

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

金は悪いものという印象をもっていました。が、
 私たちの生活を支えてくれている、なくては
 ならない存在ということを知りました。

私は今回のこの作文を通して、思ったこと
 がありそうです。私は将来、小学校の先生になる
 という夢があります。いっか、たくさんの子
 供たちの役に立てるよう、今できる勉強、努
 力を怠りません。日本や、また、世界
 では、色々な環境で暮らしている人たちがい
 ます。今こうして、学校に通って、勉強がで

きていることも、「税金」による支えがある
 かりこそのことだと思おうので、当たり前
 のことだとは思わず、感謝するべきだと私
 は思います。だが、将来は自分自身もし
 っかりと納税して、子供たちにもきちん
 とこの事を伝えられる先生になりたいと
 思います。そして、目標に近づけるよう、
 今できる事を全力で頑張りたいです。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁